

〈学術著作集ライブラリー〉

田中王堂

発行 学術出版会
発売 日本図書センター

限定
100セット

著作集

全6巻

解説・略年譜 北村実（早稲田大学名誉教授）

「生活の方針となる」哲学を唱え、
独創的な文明批評と民主主義の擁護で
明治末から昭和初頭の
思想・論壇界を風靡した田中王堂。



応用哲学・応用倫理学の先駆けともいえる、
その多様な論文群を精選し、
現代の問題意識に照らして編集した、
復刻による本格的著作集。

私は、先生によって、初めて人生を見る目を開かれた。……
もし今日の私の物の考え方に、なにがしかの特徴があるとす
れば、主としてそれは王堂哲学の賜物であるといつて過言で
はない。……

石橋湛山『湛山回想』

田中王堂著作集について

1. 明治末から大正時代の思想・論壇界で活躍し、プラグマティズムを出発点とした文明批評で名を馳せた田中王堂(喜一)。応用哲学・倫理学の先駆けともいえる、その独創的な哲学的営為を鳥瞰する著作集。

2. 北村実(早稲田大学名誉教授)により、王堂の論文群を現代の問題意識に通じるテーマ別に精選し、再構成した編集復刻。最終巻末に北村実による解説・略年譜を付す。

3. 西田幾多郎との論争や、島村抱月に代表される自然主義文学への批判など、明治・大正の論壇で展開し、当時反響をよんだ論争をたどる資料を収録。

主要底本

『書斎より街頭に』(広文堂書店 一九二〇明治四四年)
『哲人主義 上巻』(広文堂書店 一九二〇明治四五年)
『吾が非哲学』(敬文館 一九三〇大正二〇年)
『解放の信条』(宋文館書店 一九二四大正三三年)
『改造の試み』(新潮社 一九二五大正四四年)
『脚等のために代言す』(広文堂書店 一九二七大正三六年)
『徹底個人主義』(天祐社 一九二八大正三七年)
『国民哲学の建設』(天祐社 一九二九大正三八年)
『創造と享楽』(天祐社 一九三〇大正四〇年)
『救は反省より』(実業之日本社 一九三〇大正四〇年)
『象徴主義の文化へ』(博文館 一九四二大正三三年)
『現代文化の本質』(東洋経済新報社出版部 一九二九昭和四年)
『中外』(中外情勢研究会 一九二八大正三七年)

各巻の内容

第1巻 哲学・倫理・科学は何のために

1. 哲学の使命と将来
哲学の将来／プラグマチズムの後／New Philosophic Radicalism／国民哲学の建設／刻下の世運に対する哲学の使命／西田博士の哲学思索の特徴と価値を論ず／更に西田博士の学説の本体に肉薄す／新しき決心／OECPA／近世におけるロオマンズと実利との依立／功利の貯蔵としてのロオマンズ
2. 倫理・道徳の特質
自由思想家の倫理観／道徳経験に於ける情的評価の作用及び制限／青年諸子の為に理想の意義を論ず／実験理想主義は如何に現代の道徳を理解するか／不死鳥
3. 科学の役割と本領
現代生活に於ける科学の意義を論ず／科学の真と道徳の真／ヒュマニストの科学観／科学の道徳化、生活化／機械の人道化を論ず

第2巻 生活と知識・学問

1. 生活の意義
現代生活の意義／象徴主義の生活／現代生活の内容と様式／人生批評の二種類／享楽主義の倫理／自由思想家の生活信条
2. 知識とは、学問とは
知識の時代相 永遠性／近世生活に於ける知識と智慧／学問の独立の意義と範囲と順序とを論ず／バースベクチヴなき学風／学者の本領を論ず

第3巻 個人こそ社会・政治の原点

1. 徹底個人主義とデモクラシー
徹底個人主義／代表と卓越／民主主義と個人主義／哲人主義 序／わが評論界はただ一事を欠く／哲人主義の意義に就いて／デモクラシーの極致としての哲人主義 講演／現代批判の原理としての哲人主義／生活原理の極致としての合議主義
2. 徹底個人主義者の諸主張
徹底個人主義者の東西文明融合観／徹底個人主義者の恋愛観結婚観／徹底個人主義者の社会生活観／政治意識の深化、醇化／予が帝国主義の特徴／若き女性のために研学の精神と態度とを講ず

内容見本

←第1巻収録『哲学の将来』より(70パーセント縮小)

その理由からして哲學史に就て、何處に一つの横切片を取つて見ても、何時でも後に來たつた系統は、其れに先立つた系統よりも、一層具體的となり、一層理想的となり、一層作用的になつて居るのである。

今も、昔も、哲學にして哲學であらん限りは、それは等しく経験の中に普遍を發見し、生活の中に理想を發揮することを努めねばならぬ。併し昔と今とは普遍及び理想に對する解釋を非常に異にして居るのである。昔は具體を超越することに依つてのみ普遍は發見せられ、嗜慾を壓迫することに依つてのみ理想は發揮せらるゝものと考へたのであるが、今は具體を總合することに依つてのみ普遍は發見せられ、嗜慾を統一することに依つてのみ理想は發揮せらるゝものと考へらるゝに到つた。言葉でいつて見れば、ただこれだけであるが、併しこれが何の位昔の哲學と今の哲學との性質を異ならしめて居るかといふことは、少しく事理を解するものの會得するところである。

哲學の將來

並

第5巻 文芸の目標

1. 文芸界への提言
近世文壇に於ける評論の価値／公準／生活の価値、生活の意義／文芸の小化／当來の文芸／象徴主義の心理、論理、及び倫理、序説／文芸家諸氏のために科学の意義を講ず／芸術の真／衝動と思想
2. 夏目漱石・島村抱月への論評
夏目漱石氏の「文芸の哲學的基礎」を評す／島村抱月氏の自然主義を論ず
3. 社会の改造と新文化の建設
吾が社会に於ける最大欠陥／一人道主義者の社会改造観／わが同胞のために転禍為福の根本策を唱説す／象徴主義の文化へ／象徴主義文化の建設

第4巻 文明の進歩 社会の改造

1. 文明の進歩と将来
文明の将来／わが文明の弱点は何か／當來文明の基調たるべき改訳の精神を究明す
2. 文明の二側面
時代精神とは何ぞや／国民性の意義と価値とを誤解する勿れ／文明史上に於けるロオマンチズムの意義／我が国民性の立場よりクラッシシズムの意義を論ず
3. 社会の改造と新文化の建設
吾が社会に於ける最大欠陥／一人道主義者の社会改造観／わが同胞のために転禍為福の根本策を唱説す／象徴主義の文化へ／象徴主義文化の建設

第6巻 宗教の存在価値 文化主義の問題点

1. 宗教の本性と意味
宗教に対する予の態度／知識と信仰／新生活即新信仰／信仰の合理性／神秘主義の心理、倫理／宗教の發生的、作用的考察／現下における神話化の源流を究明す
 2. 諸家の宗教論への論評
現下流行の宗教文学に鑑みて信仰隆興の機縁と志向と意義とを論ず
 3. 諸家の文化主義への論評
諸家の文化主義を検討す
- 解説・略年譜 北村実(早稲田大学名誉教授)

田中王堂 略年譜

*年齢は教元年

一八六七(慶応三二年)	
一八八一(明治一四年)	一五歳
一八八三(明治一六年)	一七歳
一八八八(明治二二年)	二二歳
一八八九(明治二三年)	二三歳
一八九三(明治二八年)	二七歳
一八九七(明治三〇年)	三一歳
一八九八(明治三二年)	三二歳
一九〇一(明治三四年)	四五歳
一九〇四(大正三年)	四八歳
一九〇九(大正八年)	五三歳
一九一〇(大正九年)	五五歳
一九二九(昭和四年)	六三歳
一九三二(昭和七年)	六六歳

慶応三年二月三〇日、埼玉県人間郡中富村(現在の所沢市中富)に生まれる。本名は喜一。王堂は号。

二月、入間高麗郡立中学校に進学したが、一年たらずで退学。

同年四月より明治二〇年にかけて、東京同人社、東京英和学校、東京専門学校、同志社に学び、哲学の道に進む志を抱いた。

同年九月より明治二二年まで、山形県鶴岡で、米人宣教師の経営する英学校の通訳兼英語教師を勤めた。

同志社で教鞭をとっていた米人教師の勧めで、八月に渡米し、九月にケンタッキー・カレッジに入学。四年後卒業。

九月、哲学研究のためシカゴ大学に入学。翌年バチエラー・オブ・アーツを取得し、大学院に進学。三年間ドクター・オブ・フィロソフィーのキャンディデートとして研鑽に努めた。この間、指導教授のジョン・デューイから決定的な感化を受けた。

六月、シカゴ大学大学院の博士課程を満了し、帰国。

三月、東京高等工業学校(東京工業大学の前身)の教授(英語担当)に就任すると同時に、東京専門学校文学科の講師となり、大学昇格後も死去するまで早稲田で教鞭を取り続けることになる。

五月、「書斎より街頭に」刊行。

一月、「解放の信条」刊行。同年、東京高等工業学校教授を辞し、早稲田大学講師と執筆活動に専念。

八月、「国民哲学の建設」刊行。九月、高梨たかと結婚。

六月、長女未来誕生。同年、早稲田大学講師のまま、立教大学教授に就任。

二月、「現代文化の本質」刊行。同年、早稲田大学文学部教授に就任。

五月九日、東大病院にて死去。

田中王堂著作集 全6巻

■定 価 98,700円 (本体94,000円+税) ISBN978-4-284-10315-2

■体 裁 A5判、上製、個函・セット函入、総約3,000頁

■解説・略年譜 北村実 (早稲田大学名誉教授)

■巻 構 成 各巻のテーマに沿って田中王堂の論文を精選・収録

第1巻 哲学・倫理・科学は何のために

第2巻 生活と知識・学問

第3巻 個人こそ社会・政治の原点

第4巻 文明の進歩 社会の改造

第5巻 文芸の目標

第6巻 宗教の存在価値 文化主義の問題点

■主要底本 『書斎より街頭に』(広文堂書店 1911年)

『哲人主義 上下』(広文堂書店 1912年)

『吾が非哲学』(敬文館 1913年)

『解放の信条』(栄文館書店 1914年)

『改造の試み』(新潮社 1915年)

『卿等のために代言す』(広文堂書店 1917年)

『徹底個人主義』(天佑社 1918年)

『国民哲学の建設』(天佑社 1919年)

『創造と享楽』(天佑社 1921年)

『救は反省より』(実業之日本社 1923年)

『象徴主義の文化へ』(博文館 1924年)

『現代文化の本質』(東洋経済新報社出版部 1929年)

『中外』(中外情勢研究会 1918年)

2010年
11月刊行

おすすめ先 大学・公共図書館／日本近代思想史・政治思想史・近代文学・応用哲学・応用倫理学の研究者

〈学術著作集ライブラリー〉続刊予定 (*順不同)

田中王堂、春山作樹、谷本富、小泉郁子、木村素衛、青木誠四郎、高坂正顕、蜷山政道 ほか

好評既刊・新刊

鶴見祐輔著作集 全8巻



■定価 98,700円 (本体94,000円+税)
ISBN978-4-284-10298-8

■体裁 A5判、上製、個函・セット函入、総約2,000頁

■底本 『成城だより』全8巻 (太平洋出版社 1948-1950年)

■収録内容

- | | |
|------------|--------------|
| 第1巻 冬来りなば | 第6巻 筆は剣よりも強し |
| 第2巻 自由への闘ひ | 第7巻 感激の生活 |
| 第3巻 夢を抱いて | 第8巻 自由と秩序 |
| 第4巻 文明の行くえ | |
| 第5巻 永遠の節 | |

篠原助市著作集 全7巻



■定価 96,600円 (本体92,000円+税)
ISBN978-4-284-10307-7

■体裁 A5判、上製、個函・セット函入、総約3,000頁

■解説 木内陽一 (鳴門教育大学教授)

■収録内容

- | |
|--------------------|
| 第1巻 批判的教育学の問題 |
| 第2巻 理論的教育学 |
| 第3巻 教育の本質と教育学 |
| 第4巻 教育断想 |
| 第5巻 シュライエルマッヘル／教育学 |
| 第6巻 教授原論 |
| 第7巻 訓練原論／解説・略年譜 |

沖野岩三郎著作集 全6巻



■定価 94,500円 (本体90,000円+税)
ISBN978-4-284-10290-2

■体裁 A5判、上製、個函・セット函入、総約2,800頁

■解説・略年譜 太田雅夫 (元桃山学院大学教育研究所所長)

■収録内容

- | |
|---------------------|
| 第1巻 煉瓦の雨 |
| 第2巻 宿命 |
| 第3巻 生を賭して／渾沌 |
| 第4巻 渾水を踏みて |
| 第5巻 生れざりせば |
| 第6巻 宿命論者のことば／解説・略年譜 |

安部磯雄著作集 全6巻



■定価 78,750円 (本体75,000円+税)
ISBN978-4-284-10111-0

■体裁 A5判、上製、個函・セット函入、総約2,590頁

■解説・年譜 山泉進 (明治大学教授)

■収録内容

- | |
|--------------------------------------|
| 第1巻 社会問題解釈法／(付) 社会民主党宣言書 |
| 第2巻 都市独占事業論 |
| 第3巻 自修論 |
| 第4巻 子供本位の家庭／産児制限論 |
| 第5巻 次の時代／(付) 社会民衆党綱領解説 |
| 第6巻 社会主義者となるまで／(付) 明治三十四年の社会民衆党解説・年譜 |

〈発行〉
学術出版会

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-8-2
TEL 03-3947-9153 FAX 03-3947-9157
http://www.gaku-jutsu.co.jp
E-mail: info@gaku-jutsu.co.jp

〈発売〉
日本図書センター

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-8-2
TEL 03-3947-9387 FAX 03-3947-1774
http://www.nihontoshu.co.jp

取扱書店